

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

秘

第六十一回技術會議

第十部第二十三回會議議事要旨

一、審議事項

一、銻滓及錫滓の處理及運搬に関する件

二、銻銑運搬に関する件

三、出席者 昭和七年十月八日

四、議事 別紙記載

イ、技術事項

イ、銻銑 銻滓、錫滓、銻銑の運搬に際し協議せんとす。

ロ、銻銑部長 洞向第二銻銑場完成の上は年産銻滓約二〇萬噸を増加す

これか處理法として洞向に處理場を設けて冷却し、戸畑に運搬して

海中に放棄しては如何、向銻滓場を二五萬噸の大釜のものとせんとす

ハ、技術 洞向にて處理する理由如何。

ニ、銻銑部長 銻滓場を大釜にする為銻滓質率は七〇％となり、従つて

戸畑への橋梁の改造を必要とし向車帯定規の關係もあり、且つ鋼
 鋼を多數必要とし且つ鋼の壽命を短縮す、又危険なるものは遠方に
 運搬するより寧ろ近くにて處理したし、冷件を貨車に預めは、その
 貨車は歸還に於て他の目的に利用し得。

ホ第二製鉄課長 戸畑へ運搬する場合は現在一往復八時間を要し、爲
 に出軌時間を待ち合はす必要を生ずる恐れあり、同故障を生じたる
 場合修繕に應接する事を待す。

又鋼滓鋼を大型に改むる理由は、一日六回出軌し鋼滓量一回にて百
 噸なり、その七〇%が鋼滓口より出てこれを収容するに一三噸鋼な
 らば七疊を要す、これは鉛鋼爐に於ける鐵道線路の運用上不都合を
 生ず。

ヘ牧監 戸畑鐵道は當初その計畫に當り鋼滓運搬をも考慮したるや。
 ト八名監託 考慮したり、但し大型鋼滓鋼につきては考慮せざりき、
 尤も後継の間隔普通三米四〇〇なるを三米六〇〇と取りたるも安全

半より見れば充分ならず。

チ第二工本課長 戸畑に於ける廢棄場は相當考慮するを要すれども、應不可能にはあらず、又大壘端とならばその取せ方を注意し、車輦定規の調査を行へばよし。

リ運搬課長 原則としては廢棄物は戸畑に放棄するを最上と思へど、二五壘端とならば現在の狀態にては「ホイールロード」の點より危険なる恐れあり。

又工務部長 鐵道の危險は枕木を増せば可ならん。
ル八名嶋託 構内の建設物との間に餘猶なくそれ等の障害物を改むる必要あり。

ヲ運搬課長 鐵滓端を楕圓形にする事も考へらる。

ワ技監 鐵滓端は大壘（二五壘）にする事とす

洞内に鐵滓處理場は作らず

構内に於ける運搬上の障害物は之れを手當てすべし。

力要脚部長 錦洋の施設については改道第一製鋼工場にては、塊第一製鋼工場の一部を用ふる豫定にして一日の卸洋重一六〇乃至一七〇噸なるを以て充分なり。

目技監 可なり。

タ鉄脚部長 銑鉄脚は大とする事は以前考慮されたるも、故障ありて中止したり、然れども卸洋重を大にする事になれば銑鉄脚も大型（五〇噸）にすべく再び考慮したし、但し大型銑鉄脚は潤滑にはよけれども戸畑の銑鉄脚にそれか片ひらるゝや否や不明なり。

レ第二土木課長 銑鉄脚大型となる時は戸畑線軌條を五〇噸軌條に改むる必要あり。

ソ製鋼部長 銑鉄脚大型となるも混鉄脚の方は、起重機の「フック」の幅は現在のものに統一したし、即ち他の製鋼工場へも利用したきを以てなり。

ツ技監 一五木突地盤へ大型銑鉄脚を引上げ得るや。

本運輸課長 可能なり。

ナ八名囑託 その場合は橋の補強を要す。

ラ技術課長 戸畑線の橋は如何。

ム鉄鋼部長 橋は車二臺迄はよしとの事なれば間に空車を入れるか、

又は橋の補強を要するものと考へらる。

ウ技監 銚鉄鋼の保管は何れにて行ふや。

キ鉄鋼部長 現在通り製鋼部にて保管されたし。

ノ製鋼部長 可なり。

オ技監 第二高爐よりは銚鉄鋼五〇吨にて可なり、該銚鉄鋼の運搬は

一五木突地盤、第二製鋼工場へも通する様にするべし。

銚鉄鋼は製鋼工場にて保管すべし。

銚鉄鋼の爲五〇吨軌條に改むるに要する費用を調査すべし。

出席者（十三名）

野田技監

福部鉄部部長

安田第一製鉄課長

山岡第二製鉄課長

久保田製鋼部長

吉川第一製鋼課長

小林技手

山縣工務部長

進來第二土木課長

八名囑託 綿貫技師

中原運輸課長

井村技術課長

欠席者

熊田化工部長

谷第二副産課長